



発行

(一社)岩手県労働者福祉協議会
盛岡市大通1丁目1-16 岩手教育会館3F
TEL (019) 654-3082

発行責任者 伊藤 裕一
編集責任者 長谷川博之

No.178 2026年7月1日発行

一般社団法人岩手県労働者福祉協議会 第90回定時総会の開催

一般社団法人岩手県労働者福祉協議会の第90回定時総会が、5月20日（水）岩手教育会館カンファレンスルーム200において、正会員20名（うち書面議決1名）、理事・監事14名の参加により開催されました。

金田一副会長による開会の挨拶の後、ハピネス共済会の細川樹春社員代表が議長に選出され、定時総会がスタートしました。

主催者を代表して伊藤裕一会長より挨拶があった後、ご来賓の岩手県商工労働観光部 定住推進・雇用労働室 室長の下川知佳様、盛岡市商工労働部 次長の鈴木健二様よりそれぞれご祝辞をいただきました。



定時総会の様子

審議では、以下の7つの議案が提案され、すべて満場一致で承認・可決されました。

- 第1号議案：2025年度事業報告に関する件
- 第2号議案：2025年度会計報告並びに監査報告に関する件
- 第3号議案：定款の一部変更に関する件
- 第4号議案：理事及び監事の報酬等に関する件
- 第5号議案：2026年度団体会費の件
- 第6号議案：理事及び監事の任期満了に伴う役員選任の件
- 第7号議案：その他



開会の挨拶の金田一副会長



細川議長



ご来賓
岩手県商工労働観光部
定住推進・雇用労働室 室長
下川知佳様



ご来賓
盛岡市商工労働部 次長
鈴木健二様

第 6 号議案において理事・監事が選任され、総会後に開催された「第 150 回臨時理事会」において幹部役員が選定され、2028 年の定時総会までの新たな役員体制が確立しました。新たな役員体制は以下の通りです。

役職	氏名	所属組織	役職	氏名	所属組織
会 長	伊 藤 裕 一	連 合 岩 手	理 事	大 坪 勝 利	消費者信用生活協同組合
副 会 長	金田一 文 紀	東北労働金庫岩手県本部	理 事	高 橋 克 典	岩手県学校生活協同組合
副 会 長	佐 藤 伸 一	こくみん共済 coop 岩手推進本部	理 事	佐 藤 茂 生	連 合 岩 手
副 会 長	佐 藤 工	平和環境岩手県センター	理 事	村 上 智加子	連 合 岩 手
副 会 長	山 田 清 秋	岩 手 友 愛 会	理 事	熊 谷 孝	連 合 岩 手
専務理事	長谷川 博 之	岩手県労働者福祉協議会	監 事	小野寺 真 洋	東北労働金庫岩手県本部
常務理事	鈴 木 圭	連 合 岩 手	監 事	菅 原 繁	こくみん共済 coop 岩手推進本部
理 事	山 岸 伸 行	ハピネス共済会			

伊藤会長あいさつ要旨



本日はお忙しい中、第 90 回定時総会にお集まりいただき感謝します。また、ご多用中にもかかわらず岩手県商工労働観光部 定住推進・雇用労働室室長の下川知佳様、盛岡市商工労働部 次長鈴木健二様に御来賓として臨席賜り心から感謝申し上げます。

岩手労福協は 5 つの事業団体、3 つの労働団体そして県内 12 の地区労福協、勤労協で構成され勤労者福祉向上に向けた事業の展開を図ってきました。事業の推進にあたっては本日参加いただいている正会員の皆さまからご協力をいただいていることに感謝いたします。

岩手労福協は一昨年に創立 60 周年を迎え、公益目的支出計画も完了し、次の 10 年に向けて新たな一步を踏み出したところでしたが、公益目的支出計画完了後、運営資金の減少により財政がひっ迫したことから、一時的に他団体からの資金の借入により運営を余儀なくされました。

そのような財政事情でありましたが、皆さまからのご協力ご支援の下、この一年間、各種事業展開が出来たことに感謝いたします。厳しい財政状況ではありますが、工夫を凝らし、創業の精神である「福祉はひとつ」を永遠のテーマとし、すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会を作る運動をめざしていきたいと考えております、正会員の皆さまにはより一層のご協力お願いいたします。

レッドカーペット・プロジェクト支援事業

2021 年以降継続して取り組んでおります「レッドカーペット・プロジェクト支援事業」を、5 月 16 日（土）、24 名の参加のもと実施しました。

当日は 10 時 20 分に陸前高田市の「奇跡の一本松ホール」へ集合。まずはレッドカーペット・プロジェクトの高橋代表より、約 30 分間のご講義をいただきました。

講義の内容は高橋代表がレッドカーペット・プロジェクトを始めたきっかけ、現在の取り組んでいる事業内容等そして、高級ブランド「シャネル」の象徴的なモチーフとして知られる「カメラリア」が、実は**日本原産の椿（Camellia japonica）**であったという歴史的背景を学びました。かつて日本からヨーロッパへ渡った椿が、現地で文化的に特別な意味を持つようになり、やがてデザイナーであるココ・シャネルの人生経験と深く結びついてブランドの永遠のアイコンになった、という大変興味深いお話でした。参加者からも「身近な椿が、世界的なブランドとそんな風につながっていたとは知らなかった」と驚きの声が上がっていました。

講義の後は、植樹会場となるかさ上げ地へ移動。快晴の清々しい天候に恵まれる中、植樹作業のレクチャーを受け、各自で苗木の植え付けを行いました。

椿の苗木一本一本にプラスチックカバー（ガード）をご用意いただき、参加者は苗木が無事に成長することを願いながら、ガードに思い思いの好きな言葉やメッセージを書き込んでいました。

また、今回も昨年と同様に、中央労福協の「ろうふくエール基金」の助成により、多くの支援金を贈呈することができました。当協議会では、来年以降もレッドカーペットプロジェクトへの支援および植樹活動を継続してまいります。



全員で記念撮影



植樹作業の様子



植樹作業の様子



伊藤会長から高橋代表へ支援金の贈呈



高橋代表による椿学習会

レッドカーペット・プロジェクト (略称：RCP)とは

東日本大震災からの復興を目的に、陸前高田市・大船渡市の市花である「数椿」を軸に、①次世代人材の育成 ②美しい景観の創造 ③交流人口の拡大 ④商品開発 ⑤雇用の創出、を目標とした「レッドカーペットプロジェクト」を展開しています。

陸前高田市のかさ上げ地に椿を植樹し、地域の新たな景観を形成するとともに、採取した椿を椿茶の原材料として加工する生産活動へとつなげています。

2024 年 5 月現在、岩手・宮城沿岸地域の障がい者施設 15 か所に加え、個人の内職、生活困窮者、ひきこもり当事者、精神科病院での作業療法、高齢者デイケアなど、多様な主体と連携し、日々 100 名以上が関わる体制を構築。地域に新たな雇用と社会参加の機会を生み出しています。掲げる理念は「SDGs：誰一人取り残さない」であり、地域共生型の復興モデルとして大きな成果を上げています。

2026年度事業団体事業報告会

定時総会終了後、岩手労福協正会員の5つの事業団体の事業報告会を開催しました。



東北労働金庫岩手県本部
副本部長
小野寺 真洋氏



こくみん共済 coop 岩手
推進本部 事務局長
菅原 繁氏



消費者信用生活協同組合
専務理事
船ヶ澤 堅一氏



ハピネス共済会
専務理事
細川 樹春氏



岩手県学校生活協同組合
専務理事
沼田 聡氏

ライフサポートセンターいわて 第19回定期評議員会の開催

ライフサポートセンターいわての第19回定期評議員会が、5月20日（水）岩手教育会館カンファレンスルーム 200 において、評議員 10 名、理事・会計監査 11 名の参加により開催されました。

佐藤工副理事長による開会の挨拶の後、ハピネス共済会の山岸伸行評議員が議長に選出され、評議員会がスタートしました。

審議では、以下の6つの議案が提出され、すべて満場一致で承認・可決されました。

第1号議案：2025年度活動報告について

第2号議案：2025年度決算報告並びに会計監査報告について

第3号議案：2025年度会計決算剰余金処分（案）について

第4号議案：2026年度活動計画（案）について

第5号議案：2026年度予算（案）について

第6号議案：役員改選について



開会の挨拶
佐藤工副理事長



議長の
山岸伸行評議員



退任の挨拶をする
佐々木正人氏

新役員体制の決定

第6号議案において役員改選が行われ、2026年度から2028年度定期評議員会までの新役員が以下の通り選任されました。

なお、役員改選において佐々木正人氏が退任されました。

役 職	氏 名	所属組織	役 職	氏 名	所属組織
理 事 長	伊 藤 裕 一	連 合 岩 手	事務局次長	鈴 木 圭	連 合 岩 手
副理事長	金田一 文 紀	東北労働金庫岩手県本部	理 事	大 坪 勝 利	消費者信用生活協同組合
副理事長	佐 藤 伸 一	こくみん共済 coop 岩手推進本部	理 事	村 上 純	ライフサポートセンター北上
副理事長	佐 藤 工	平和環境岩手県センター	会計監査	小野寺 真 洋	東北労働金庫岩手県本部
副理事長	山 田 清 秋	岩 手 友 愛 会	会計監査	菅 原 繁	こくみん共済 coop 岩手推進本部
事務局長	長谷川 博 之	岩手県労働者福祉協議会			

ライフサポートセンターいわて 2026 年度研修会の開催

ライフサポートセンターいわて第19回定期評議員会の開催後、同会場において34名の参加のもと「ライフサポートセンターいわて2026年度研修会」を開催しました。

今年度は、認定NPO法人フードバンク岩手の副理事長・事務局長である阿部知幸氏をお招きし、「フードバンク岩手の取り組みと近況」というテーマでご講演をいただきました。

フードバンク岩手は2014年10月に活動を開始し、2015年1月に法人格を取得、2022年5月には認定NPO法人に認定されています。

「フードバンクは単なる『食品配布団体』ではない」、「もったいない食品」と「困っている人」をつなぎ、地域の支え合いを生み出す社会インフラとして、「食品ロスの削減」「生活困窮者への支援」「地域福祉・共生社会づくり」の3つを同時に実現する役割を担っています。

その上で、私たちにできる支援として以下の「3つのお願い」が示されました。

「食べ物の寄付」（家庭や職場で余っている食品の提供）

「お金の寄付」（活動を継続・発展させるための資金援助）

「時間の寄付」（ボランティアとしての活動への参加）

「フードバンク岩手」の社会的孤立を防ぐ取り組みは、労福協の理念である『すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくります』と深く相通じるものがある、と参加者一同が強く実感させられる大変有意義な研修会となりました。



ライフサポートセンターいわて研修会の様子



フードバンク岩手 副理事長・事務局長、阿部知幸氏

中央労福協主催

「全国研究集会 2026 in MIYAGI」の開催について

6月2日（火）に宮城県仙台市の「東京エレクトロンホール宮城」にて、「全国研究集会 2026 in MIYAGI」が開催されました。

本集会は東日本大震災から15年が経過した節目の年でもあることから、テーマに「Re:BUILD 災害に対する社会のこれからを考える」を掲げて行われました。

当日は全国から会場へ433名が集結したほか、オンライン（YouTube Live）でも多くの方々が視聴しました。岩手県からは13名が会場参加し、私たちは災害から何を学び、これから何をすべきなのかをあらためて考えさせられる大変有意義な研修会となりました。

なお、来年2027年の全国研究集会は長野県で開催される予定です。長野県では、東日本大震災のわずか13



時間後（3月12日午前3時59分）に、最大震度6強、マグニチュード（M）6.7の「長野県北部地震」が発生し、甚大な被害を受けています。大震災の直後であったため「忘れられた震災」と呼ばれることもありますが、次回の集会は、この長野での震災の記憶にも光を当て、学びを深める契機となることが期待されます。

連合岩手・岩手労福協合同 第12回チャリティーゴルフコンペの開催

6月19日（金）、盛岡南ゴルフ倶楽部において、「第12回連合岩手・岩手労福協合同チャリティーゴルフコンペ」を開催しました。

当日は絶好のゴルフ日和に恵まれ、開催以来初となる女性2名の参加もあり、合計31名（9組）がエントリーし、ゴルフを通じて親睦を深めました。

激戦を制し優勝に輝いたのは、JAM 青森岩手の山口康幸さんです。昨年に続く2連覇の達成となりました。表彰式では、金田一副会長からその栄誉を称え、優勝カップが授与されました。

参加者の皆様から寄せられたチャリティー募金 31,000 円については、例年どおりフードバンク岩手へ全額寄付し、地域の生活支援活動に役立てていただきます。ご参加いただいた皆様並びにご協力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

優 勝「JAM 青森岩手」山口康幸さん
準優勝「三栄工業労組」吉田博光さん



集合写真



金田一副会長による始球式



青空に向かってナイスショット！



2連覇を達成した山口康幸さん

主 な 行 事 予 定

第29回岩手労福協チャリティーボウリング大会

日 程 2026年8月8日（土）
10時30分
会 場 盛岡スターレーン
応募数 先着18チーム（72名）

2026年度北部労福協研究集会in MORIOKA

日 程 10月19日（月）
14時～17時（予定）
会 場 ホテルニューカーリーナ

2026年度退職準備サポート研修会

●盛岡会場

日 程 9月5日（土） 13時～17時
会 場 都南公民館（キャラホール）
募 集 先着50名

●北上会場

日 程 9月12日（土） 13時～17時
会 場 北上オフィスプラザ
募 集 先着50名

ホームページ
のご案内

岩手労福協では、ホームページを開設しております。イベント予定・活動報告等を掲載しております。是非ご利用ください。

ホームページ <http://iwate.rofuku.net>

